

気をつけて！ SNSの注意点



★情報モラルとマナー★

- 1 相手の承諾なしに、写真をアップしたり、タグ付けしたりしない
- 2 一度アップした情報は、完全に取戻しができないので、軽い気持ちで悪ふざけをしない
- 3 インターネットは匿名の空間ではなく、インターネット上の行動は特定されると自覚すること
- 4 SNSは閉鎖的な空間ではないためメッセージ、写真、動画、音声などは第三者から見られる可能性があることを知ること

LINEやTwitter、Facebookなど、今やだれもが気軽にスマホで利用できるSNSがたくさんあります。簡単に利用できる反面、トラブルも多いです。サービスの仕組みや設定をきちんと理解してないまま使い始めてしまうと、思わぬトラブルにつながる恐れもあります。正しい知識やマナーを身に付け、安全に利用しましょう。

LINE を例に注意点をお知らせします

利用前には、アドレス帳の送信に注意



LINEは、自分の電話番号や友人の電話番号を含むアドレス帳をLINEのサーバに送り、他の登録者と照合することで「友だち」や「知り合いかも？」と表示される仕組みです。

このため、アプリインストール時に表示される「アドレス帳を利用する」を選択すると、アドレス帳に登録した

全てのデータがサーバに送信されてしまい、プライベートを知られたくない人と「友だち」になってしまうこともあります。

初期設定時に、一括でアドレス帳を送信してしまうのではなく、**個別に友だち登録**をした方が安心です。

実際に会ってスマートフォンを振る動作をしたり、QRコードを表示/読み取りしたりして、友だち登録することができます。

意図しない「友だち」の広がりを防ぐ

意図しない「友だち」の広がりを防ぐためには、「友だち自動追加」(アドレス帳に登録した人を自動的に「友だち」に追加する機能)、「友だちへの追加を許可」(相手が自分の電話番号をアドレス帳に登録していると自動的に「友だち」に追加する機能)を**オフ**しておきましょう。初期設定では、いずれの機能も有効になっています。「設定」の「プライバシー管理」から設定変更が可能です。

最近連絡を取っていない人をLINEで見つけても、本人かどうかわかりません。以前に使っていた電話番号が、「LINEで見つけた実際の友人が実は別人だった」という可能性があります。

携帯電話番号の変更を周知していなければ、なりすまされるリスクは存在します。友人とだけ交流しているつもりであっても、悪意のある第三者に情報を悪用されれば、**犯罪の標的**になってしまう恐れもあります。

こうした危険は、LINEに限らず、不特定多数とコミュニケーションできるSNS全般に共通することです。もしも知らない人からメッセージが届いたら、メッセージを遮断できる「**ブロック**」機能を使うようにしましょう。



利用前にはアドレス帳を送信しないで、個別に友達登録を！

自動的に友達追加する機能をOFFにしよう！

カメラの位置情報をOFFにしよう！

友達や有名人の写真は無断で投稿してはいけません！(著作権・肖像権があり、掲載には許可が必要)

自分や友達の氏名・住所などの個人情報を第三者に知られないように注意！

カメラの位置情報をオフにしよう

カメラの設定で位置情報がONになっていると撮影時にどこで撮影されたかという情報が付加されます。これは非常に怖いことで、解析ツールを使用すると簡単に画像の撮影場所を特定できてしまいます。

LINEでは写真がダウンロードできるので、自分の写真を友達のものにできてしまい、位置情報がクリップされた写真が友達以外の人の手に渡る可能性があります。



単なる風景写真であるならともかく、顔や家が写っている写真が位置情報付きでネット上で拡散してしまった場合、個人情報・・・。「この子は、ここに住んでいる子だな」・・・と、世界中にわかってしまいます。まずは、カメラの位置情報を**オフ**にしておきましょう。

被害者にも加害者にもならないために

スマホで送受信している情報は、自分と相手の二者だけでやり取りしているわけではありません。『転送』されてしまえば、またたく間に『拡散』し、『炎上』なんてこともあります。ネット上に公開する前に、「**自分だけではなく、家族や友達に迷惑がかからないか**」

「その時に自分は耐えられるのか」「将来にまで影響が及ぶかもしれない」ということを考えましょう。スマホはパソコンと変わらないレベルで様々なことができます。それを踏まえた上で使用すると安心です。

